

教授要目

昭和37年度



小樽商科大学

小樽商科大学教授要目

目 次

I 学 科 目 履 修 方 法	1
1 昭和37年度開設科目	1
2 履 修 方 法	3
II 教 授 要 目	5
1 一 般 教 育 科 目	5
2 外 国 語	12
3 体 育	18
4 専 門 科 目	19
5 教職に関する専門科目	35

)
部
)

以て

て通

教授)
部)

)
部
師)

I 学科目履修方法

1, 昭和37年度の開設科目は次の通りである。

区分	学 科 目	単位	年度	担当教官	備 考		
一般 教育 科目	人 文 学	4	Ⅱ	川村教授	(学習院大学教授) (北海道大学文学部 助教)		
	倫 理 学	4	I	〃 〃			
	心 理 学	4	Ⅱ	馬場講師			
	日 本 文 学	4	I	広田助教			
	外国(仏)文学	4	Ⅱ	松尾教授			
	外国(露)文学	4	Ⅱ	松本講師			
	外国(独)文学	4	Ⅱ	関 講師			
	※外国(英)文学	4	I・Ⅱ	柏倉講師			
	歴 史 学	4	I・Ⅱ	井上講師			
	日 本 文 化 史	4	I	広田助教			
	社 会 科 学	※社会科学概論	2	I・Ⅱ		中川講師 桑原助教 早見講師 地本助教 岡本教授	開講については前以て 通知する。 (後期) (前期) (後期) 開講について前以て通 知する。
		法学概論	4	I			
		憲 法	2	Ⅱ			
		◎経済学概論	4	I			
	◎商業概論	4	I				
	※政治学	2	I・Ⅱ				
自然 科学	◎数学(△解析I)	4	I	武隈教授	(北海道学芸大学助教) (北海道大学理学部)		
	物 理 学	4	I	小宮講師			
	生 物 学	4	I	向川講師			
	化 学	4	I	斎藤助教			
外 国 語	◎英語(1) { I } { II }	12	{ I } { II }	(備考参照)	(外国人講師) (学習院大学教授) (外国人講師) (北海道大学文学部 講師)		
	英語(2)	4	Ⅲ・Ⅳ	久納講師			
	英 語 (2)	4	〃	マクラウド講師			
	※英 文 学	4	I・Ⅱ	柏倉講師			
	○独 語 { I } { II }	8	{ I } { II }	{関 講師 オピッツ講師}			
	○仏 語 { I } { II }	8	{ I } { II }	{松尾教授 マチルド講師}			
	○中 国 語 { I } { II }	8	{ I } { II }	川上助教			
	○露 語 { I } { II }	8	{ I } { II }	松本講師			
○西 語 { I } { II }	8	{ I } { II }	一色助教	(後期) 一部集中講義			

体 育	◎実 技	2	I	{杉山 講師}	(非常勤講師)
	◎講 義 {体育理論 保健}	2 2	II II	杉山 講師 杉大 講師	後期 前期 (小樽協会 病院医長)
専 門 共 通 科 目	◎民 法 I	4	II	相原 講師	(小樽商大短大 助教授)
	民 法 II	4	III	中川 講師	
	◎商 法 I	4	III	喜多 教授	
	商 法 II	4	IV	喜多 教授	
	◎統 計 学	4	II	桑原 助教授	
	数 理 統 計 学 (△統計 I)	4	III・IV	竹内 助教授	
	◎経 済 統 計 学	2	III・IV	沼田 講師	(後期)
	◎経 済 変 動 論 学	4	II	地主 助教授	(今年度に限り、経 済変動論を以て経済 原論の必修単位にあ てる)
	◎計 量 経 済 学	4	IV	古瀬 教授	
	◎経 済 史 概 論	4	II	浜林 助教授	
	◎経 済 政 策 学	4	III・IV	麻田 助教授	
	◎財 政 学	4	III	早見 講師	
	◎国 際 経 済 論	4	IV	麻田 助教授	
	◎商 業 英 語	4	III	木曾 教授	後期 (北海道大学 経済学部助教授)
	◎経 済 地 理	4	II・III	大爺 講師	
	◎金 融 経 済 論	4	III	阪口 助教授	
	◎国 際 金 融 論	4	III・IV	" "	
	◎銀 行 論	4	IV	藤沢 助教授	(前期)
	◎配 給 論	4	III	岡本 教授	
	◎交 通 論	4	III・IV	久木 教授	
◎保 険 論	4	IV	" "		
◎証 券 市 場 論	4	IV	進藤 講師	(神戸大学教授)	
◎有 価 証 券 論	2	III・IV	上林 講師	(一橋大学教授)	
◎企 業 分 析 学	2	III・IV	古川 講師		
◎経 営 経 済 学	4	II	室谷 教授		
◎産 業 心 理 学	4	III・IV	馬場 講師		
◎簿 記 学	4	II	久野 講師		
◎商 業 数 学 (△代数 I)	4	I	武隈 教授		
△計 算 機 論	2	I	古瀬 教授	(後期)	
◎会 計 学	4	III	石河 教授		
◎研 究 指 導	12	III・IV	専門科目担当教官		
◎職 業 指 導	4	III	阿部 講師	(非常勤講師)	

経済学 特殊 科目	経済学 史学	2	III・IV		開講については、前 以て通知する。
	工業経済学	4	III・IV	吉武 助教授	
商業学 特殊 科目	社会政策	4	IV	" "	
	商品学	4	III・IV	斎藤 助教授	
教職に 関する 科目	工場経営	4	III	伊藤 助教授	
	教育原理	3	I	田中 講師	(小樽商大短大教授)
	英語科教育法	3	II	脇田 助教授	
	商業科教育法	3	II	金巻 講師	
	教育実習	2	III	{脇田 助教授 金巻 講師}	
教育史	3	III	田中 講師		
特別講義	経済学特殊 問題 世界文化史	4	II・III I~IV	藤沢 助教授 学 長	(後期) 開講については、そ の都度指示する。

- 備考
- 表中、◎印は必修科目を示す。
 - 表中、○印は選択必修科目を示す。
 - 表中、※印は集中講義を示す。
 - △印は本年度開設した管理科学系列に属する科目である。
 - 英語(1)の担当教官は次のとおりである。
木曾教授、脇田助教授、久納講師、北村講師(小樽商大短大助教授)、野尻講師(北大文学部助教授)、玉井講師(藤女子短大教授)、片山講師(藤女子大講師)、マクラウド講師(外国人講師)、フロム講師(外国人講師)
 - 英語(2)、英語学および英文学は高等学校英語科二級普通免許状取得のための必修科目であると共に一般学生の課外科目としての履修参加も認められる。

2. 学生は4年間在学し下記各項に示すところに従い、単位を取得することによつて卒業資格が与えられる。

(1) 一般教育科目

一般教育科目は人文科学、社会科学、自然科学の3系列につき、それぞれ3科目12単位以上を履修しなければならない。

なお、社会科学系列の経済学概論、商業概論は昭和33年度以前入学者を除く全学生の必修科目、自然科学系列の数学は全学生に対しての必修科目となつており、社会科学系列の憲法(2単位)は、高等学校(商業科および英語科)二級普通免許状を取得する学生についてのみ必修となつ

単位修得要領一覽

ている。

また文学の単位は日本文学、外国文学のうち、いずれか1科目だけが卒業のための所要単位数に算入される。

(2) 外国語

英語(1)は1年度、2年度の各年度毎に毎週6時間履修し、担当教官(各クラス3名)の総合成績が合格することによつて年度毎の6単位が与えられ、合計12単位を必修とする(別表参照)

英語以外の外国語(独、仏、中、西、露の各外国語)は、何れか1ヶ国語を選択必修とし、毎週4時間、年度毎(1, 2年度)4単位宛計8単位を履修しなければならない。

(3) 体育

体育は実技2単位(1年度)、講義2単位(2年度)を必修とする。なお、講義2単位は体育理論(2単位)、保健(2単位)の何れか一方を選択履修すればよい。

(4) 専門科目

専門科目は84単位以上(職業指導を除き)を履修しなければならない。

なお、専門科目中、民法I、商法I、統計学、経済原論、経済史概論、経営経済学、簿記学および会計学各4単位は昭和33年度以前入学者を除く全学生に対しての必修科目となつている。

また、高等学校商業科(英語科は該当せず)二級普通免許状を取得する学生については、上記84単位の外、職業指導を必修とする。

研究指導は毎週3時間、3年度からの2ヶ年継続授業12単位(卒業論文を含む)で専門科目84単位中に含まれる。

研究指導に参加しない学生は研究指導12単位分を、他の専門科目の履修によつて充足し、84単位以上を履修しなければならない。

学生は、3学年度から経済学科専攻と商業学科専攻とに分れるが、他学科専攻の特殊専門科目は卒業の単位には算入されない。従つて専門科目は各人の所属する専攻の特殊専門科目と共通専門科目について84単位以上を修得しなければならない。

(5) 教職課程

商業教員養成課程の履修を条件として入学した学生は、上記の外、高等学校商業科二級普通免許状取得の資格を得ることも卒業のための条件となつているから注意を要する。

その他、単位の修得要領については、次頁の別表を参照すること。

種別	科目区分	一般教育科目				体育			外		
		人文科学	社会科学	自然科学	計	実技	講義	計	英		英語(2) 英語学
									英語(1) I	英語(1) II	
A 一般学生	12	12 (経済学概論) (商業概論) 必修	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6		
B 商業教員養成課程(教職課程)を履修条件としての入学者	12	12 (経済学概論) (商業概論) 必修 憲法	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6		
C 高等学校英語科二級普通免許状取得希望者	12	12 (経済学概論) (商業概論) 必修 憲法	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6	12	

註

- 表中の単位は総て最低所要単位数を示したものである。
- A, B欄はそれぞれ卒業を条件とする最低所要単位数である。
- 教職課程以外の一般学生で、高等学校商業科二級普通免許状の取得を希望者はB欄によればよい。但し、その場合はB欄中、A欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
- A欄該当者がC欄によつて単位を修得した場合は、C欄中のA欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。

単位修得要領一覽表 (最低所要単位数)

種別	科目区分	一般教育科目				体育			外国語						専門科目	教職に関する専門科目	合計					
		人文科学	社会科学	自然科学	計	実技	講義	計	英語			英語以外の外国語						計				
									英語(1)		英語(2) 英語学	英文学	小計	I					II	小計		
									I	II												
A	一般学生	12	12 (経済学概論} 必修) (商業概論}	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6				12	4	4	8	20	84	民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会計学を必修とする。他学科専攻特殊専門科目, 職業指導を除く。		144
B	商業教員養成課程(教職課程)を履修条件とする入学者	12	12 (経済学概論} 必修) (商業概論} 憲法}	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6				12	4	4	8	20	88	職業指導, 民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会計学を必修とする。他学科専攻特殊専門科目を除く。	14 教育原理 3単位 教育心理 3単位 商業科教育法 3単位 教育実習 2単位 } 必修	162
C	高等学校英語二級普通免許状取得希望者	12	12 (経済学概論} 必修) (商業概論} 憲法}	12 (数学必修)	36	2	2	4	6	6	12	8	32	4	4	8	20	84	民法I, 商法I, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会計学を必修とする。他学科専攻特殊専門科目, 職業指導を除く。	14 教育原理 3単位 教育心理 3単位 英語科教育法 3単位 教育実習 2単位 } 必修	178	

註

- 1 表中の単位は総て最低所要単位数を示したものである。
- 2 A, B欄はそれぞれ卒業を条件とする最低所要単位数である。
- 3 教職課程以外の一般学生で, 高等学校商業科二級普通免許状の取得を希望する者はB欄によればよい。
但し, その場合はB欄中, A欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
- 4 A欄該当者がC欄によつて単位を修得した場合は, C欄中のA欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。

- 5 表中, 「英語以外の外国語」とは独語, 仏語, 中国語, 西語, 露語を示す。
(うち1科目選択必修)

II 教授要目

1. 一般教育科目

哲 学

教授 川 村 三千雄

- (1) 哲学の意義, 方法
- (2) 哲学の問題
 - a) 哲学思想史の中に見出される哲学の問題。
 - b) 現実の世界と人生の中に見出される哲学の問題。
- (3) 最近世の思想の哲学思想史的地位。

倫 理 学

教授 川 村 三千雄

- (1) 倫理学の基礎的概念について。
(倫理学の意味、方法、対象について)
- (2) 人間の概念について。
(哲学的な人間の規定、道德の主体としての人間)
- (3) 倫理学の根本問題の若干についての考察。
(善, 自由, 悪等)
- (4) 道德の問題について。
(現実的世界の道德の問題について)

心 理 学

講師 馬 場 道 夫

一般教養科目としては、人間についての科学的認識を深め、自他の行動の批判力を高める。産業心理学の基礎となるべき内容を持つ。以上の二点が、この心理学講義の方向である。主な内容は次の通りであるが、本年は特に性格心理学に力点をおく予定である。

- 第1部 感情, 動機, 適応
- 第2部 学習, 記憶, 思考
- 第3部 感覚と知覚
- 第4部 性 格

第5部 集団と社会

なお教科書は使用しないが、参考書として高木貞二 心理学, 今田恵 心理学, 小保内虎夫 人間科学の基礎, 宮城音弥 心理学入門などが有用であろう。また折をみて, 心理学の実験やテストを行う。

日本文学

助教授 広田二郎

元禄文学論

I 西鶴

- 1 仮名草子・貞門俳諧と西鶴
- 2 談林俳諧の文学革新運動
- 3 浮世草子の創始
- 4 好色物
- 5 武家物
- 6 町人物
- 7 雑話物
- 8 西鶴文学の体系と精神

II 近松

- 1 浄瑠璃の発達
- 2 近松の登場
- 3 時代物
- 4 世話物
- 5 近松文学の体系と精神

III 元禄文学の史的展開と西鶴・近松

外国(仏)文学

教授 松尾正路

フランス文化と国民性, 19世紀作家論: 散文の本質について。20世紀の作家: ジイドとブルーストについて。

外国(露)文学

講師 松本忠司

主題 ロシヤ, インテリゲンツイヤの歴史

講義内容 本年度は, 後期の講義において, 20世紀ロシヤ文学を主に扱う予定である。

1, ロシヤ・インテリゲンツイヤ史概観

2, 変動期のインテリゲンツイヤ問題

a) テューホフ, コロレンコ, ゴーリキイ

b) メレジヨフスキイ, アンドレーエフ, アルツイバーシエフ

3, 革命後のインテリゲンツイヤの問題

外国(独)文学

講師 関徹雄

I ドイツ文学の概要

II 精神史としてみた流派の問題。ことにロエン派後期について。

日本文化史

助教授 広田二郎

I 原始社会の文化

1 無土器文化

2 縄文式文化

II 古代社会初期の文化

1 弥生式文化

2 古墳文化

III 律令社会の文化

1 大陸精神文化の輸入

2 仏教と仏教芸術

3 民族固有の精神文化

IV 貴族社会の文化

1 文学の発展

2 造型美術の発達

3 文化の地方への滲透

V 封建社会前期の文化

1 新仏教の成立

2 前期武士道

3 新しい文化の発展

VI 封建社会中期の文化

- 1 桃山時代の美術
- 2 封建秩序と教学
- 3 町人文化の発達

VII 封建社会後期の文化

- 1 町人芸術の爛熟
- 2 科学的精神の誕生
- 3 近代化へのつながり

法学概論

講師 中川良延

私法を中心に次の順序で行う。

- 1, 法の概念と法律学の方法論
- 2, 家族に関する法
- 3, 所有権および契約に関する法
- 4, 企業に関する法
- 5, 労働関係についての法
- 6, 司法制度と訴訟に関する法

教科書：中川善之助・木村亀二編「法学概論」勁草書房

憲法

助教授 桑原輝路

経済学概論（前期）

講師 早見弘

テキスト P. A. Samuelson *Economies : An Introductory Analysis* (Asian Students Edition)

前半では第I部第4章までと第III部、第IV部をとりあげる。いわゆるミクロ分析をテキストにしたがつて解説する。予習されたい。

経済学概論（後期）

助教授 地主重美

- 1 テキスト P. Samuelson : *An Economics* 1961 New York (Mcgraw-Hill)

- 2 前期のマイクロ分析にひきつづき、マクロ分析を扱う。特にケインズ的方法によつて経済現象の法則性を所得変論の側面から明らかにしていく。

- 3 履修者は reading assignment を確実に実行しなければならない。

商業概論

教授 岡本理一

商業に関する一般的解説を行い、以て現代商業の研究に必要な準備的、基礎的知識をあたえることを目的とする。

1 商業の学問

- (1) 学問とは何か (2) 商業学の発達

2 商業の起源とその発達

- (1) 商業の発生 (2) 階段的発達 (3) 機能別発達

3 商業の概念

- (1) 現代の商業学説と批判 (2) 現代商業の分類

4 現代商業構造

- (1) 商業の主体 (2) 商業形態 (3) 商業の客体
- (4) 商業の依存関係

5 配給組織

- (1) 配給の意義 (2) マーケティングについて (3) 配給組織—
a集収組織 b仲継組織 c分散組織

6 資本主義の発展と商業

- (1) 商業介入傾向と商業廃除傾向 (2) 協同組合、公企業による商業経営 (3) 社会主義と商業

テキストとして福田敬太郎著「商学総論」（昭和30年2月、千倉書房刊）を使用する。

数学（解析I）

教授 武隈良一

微分積分学の講義を行う。内容次の如し。

- 1 実数
- 2 函数
- 3 初等函数

- 4 導函数
- 5 導函数の応用
- 6 不定積分
- 7 定積分
- 8 定積分の応用
- 9 級数
- 10 偏導函数
- 11 偏導函数の応用
- 12 二重積分

使用テキスト

寺阪, 福原, 稲葉, 坪光, 山崎共編 基礎数学, 微分と積分 (共立社)

物理学

講師 小宮 英太郎
(北海道学芸大学助教授)

- § 力学
 - ・運動の法則
 - ・万有引力
 - ・剛体運動等
- § エネルギー
 - ・仕事
 - ・エネルギー保存則等
- § 電子
 - ・陰極線等
- § 原子
 - ・質量 (分析器)
 - ・ α 粒子の散乱等
- § 光の波動性
 - ・干渉
 - ・廻折等
- § 電磁波
 - ・電気振動
 - ・X線と結晶等
- § 光子と物質波

- ・光電効果
- ・不確定性原理等
- § 原子スペクトルと原子構造
 - ・Bohrの理論
 - ・量子力学
 - ・Pauli・排他律等
- § 気体
 - ・分子熱
 - ・分子の結合力
- § 固体
 - ・結晶の結合力
 - ・金属の自由電子論
 - ・半導体等
- § 天然放射能
 - ・放射能系列等
- § 元素の人工変換と人工放射能
 - ・中性子
 - ・陽電子
 - ・人工加速装置
- § 原子力エネルギー
 - ・核分裂と核反応
 - ・超ウラン元素
- § 宇宙線
 - ・一次宇宙線
 - ・中間子

教科書は 昨年と同じく

学術図書出版社刊 田原秀一著 一般物理学 定価 200円—

化学

助教授 齊藤 要

生物学

非常勤講師 向川 信一
(北海道大学理学部)

2. 外 國 語

1 年必修英語

教授 木 曾 栄 作

外国人講師 Elwood Fromm

非常勤講師 北 村 正 司
(小樽商大短期大学助教授)

テキスト

William L. Clark 著

Spoken American English (Elementary Course) (研究社)

- 1, 英語の発音と聴解の能力を発達させる。
- 2, 模範会話の暗誦を基礎として, 文型練習を行い, 文型の運用を自在ならしめ, これを実際の会話に応用展開する能力を養う。
- 3, 英作文の実践的能力と文章表現に対する積極的態度を養う。

非常勤講師 片 山 厚
(藤女子大学講師)

テキスト

Willa Cather : *My Mortal Enemy* (成美堂刊行)

非常勤講師 玉 井 武
(藤女子短期大学教授)

テキスト 未 定

講 師 久 納 泰 之

テキスト

John Steinbeck : *The Moon is Down* (金星堂)

助教授 脇 田 勇

テキスト J. K. Jerome :

The Idle Thoughts of an Idle Fellow (南雲堂)

Jerome Klapka Jerome (1859—1927) は劇作家, essayist 教師, 俳優などをしたことのある人で, 二冊の humour に富んだ読物 *Idle*

Thoughts of an Idle Fellow (1889) と *Three Wenina Boat* (1889) で有名である。人生を豊かにしてくれる humour にはある国民に特有の体臭の様なものがあり, この一冊を題材に所謂英国的 humour の実体を学びたいと考える。

しかし reading ability の向上のみでなく, hearing, speaking, writing ability の drill も同時に行う予定である。

非常勤講師 野 尻 吉之進
(北海道大学文学部助教授)

テキスト Elmer Rice : *Dream Girl*

2 年必修英語

教授 木 曾 栄 作

外国人講師 I. ゴードン・マクラウド

外国人講師 E. フロム

非常勤講師 北 村 正 司
(小樽商大短期大学助教授)

テキスト

William L. Clark 著

Spoken American English (Intermediate Course) (研究社)

- 1, 英語の音声に認知と発表の両面から熟達させる。
- 2, 模範会話の暗誦を基礎として, 文型練習を行い, 文型の運用を自在ならしめ, これを実際の会話に応用展開する能力を増進させる。
- 3, 模範文の暗誦を基礎として, 文章表現の実践的能力とこれに対する積極的な能力を伸長させる。

助教授 脇 田 勇

テキスト W. S. Maugham : *The Summing Up* (大阪図書)

William Somerset Maugham (1874—) は我が国で広い読者層を持っている現代作家の一人で簡けつと明白を意識しつつ書いた多くの作品は, prose の模範として定評のあるところである。*The Summing Up* (要約すると) (1938) は作者は自伝でも回想録でもないと言つてはいるが, 作家 Maugham のあらゆる考え方がおり込まれていて, 教養の書としても

一読に値する作品である。polish up された style の英文を通じて、彼の人生観、文学観を学ぶ積りである。

講師 久納 泰之

テキスト

James Joyce : *Dubliners* (南雲堂)

非常勤講師 玉井 武
(藤女子短期大学教授)

テキスト未定

非常勤講師 野尻 吉之進
(北海道大学文学部助教授)

テキスト Evelyn Waugh : *Work Suspended*

非常勤講師 片山 厚
(藤女子大学講師)

テキスト H. E. Bates : *The Beauty of the Dead*
(南雲堂刊行)

課外英語 (1.2年)

英語教官担当

1年テキスト

小川芳男, 上野伊栄太著「高等英文法」(有精堂)

2年テキスト

The Americans—Ways of Life and Thought (研究社小英文叢書)

アメリカ人の生活と思想の分析を主として研究し、訳読を中心としつつテキスト中の重要語句を応用して作文力の養成にも努める。

英語 (2)

講師 久納 泰之

英語(2) (文体論演習)

テキスト

Jane Austen : *Pride and Prejudice* I (研究社)

言語表現における手法の論という意味の Stylistics (文休論) である。各種の文集合を中心に、題材に対して心的機能の一種である「情意」がいかに行われているか、すなわち、作品の題材を取り扱う仕方といった観点から上記作品を検討して行く予定である。

参考書： 佐々木達「語学試論集」(研究社)

英語 (2)

外国人講師 J. ゴードン・マクラウド

Text : R. L. Stevenson : *A Lodging for the Night*

(Other Short Stories, to be decided later)

Conversation on the content, meaning and interpretation of the text will be conducted to assist the students to improve their ability to express themselves in English. Written compositions will be assigned and term and final examinations given.

英文学

教授 柏倉 俊三

Shakespeare を中心とした英文学概論。集中講義の予定。

[註] 一般教育科目人文系列文学の中の外国文学(英文学)の講義と共通

外国語実験室(Language Laboratory)演習

教授 木曾 栄作

助教授 脇田 勇

講師 久納 泰之

非常勤講師 北村 正司
(小樽商大短期大学部助教授)

テキスト

(1年) Vernon Brown : *Improving Your Pronunciation* (明隣堂)

(2年) William L. Clark : *Spoken American English*

(Elementary Course) (研究社)

独 語 I

講 師 関 徹 雄

文法書一本で講義を行い、文法終了後短篇小说か教養読本を読みたい。
使用教科書 早川東三編 早川ドイツ文法(朝日出版社)

独 語 I

外国人講師 F. オピッツ

Einführung in die deutsche Umgangssprache.
ドイツ語「日常会話入門」テキストは使用しない。

独 語 II

講 師 関 徹 雄

訳読に集中、中級の現代文学からはじめて、古典へと、さかのぼりたい。
随時適当な教科書を選択する。ドイツの精神史的特質に触れるように心がける。

独 語 II

外国人講師 F. オピッツ

Wirtschafts Kundliches Vokabular

経済用語

Diskussionen über Geographie, Verkehr, Politik etc

地理学と交通関係と政治学等々の論究

テキストは使用しない。

仏 語

教 授 松 尾 正 路

1年、発音、文法、作文、訳読。
2年、作文、訳読、翻訳実習。

仏 語

非常勤講師 太黒マチルド
(北海道大学文学部講師)

1年、発音、会話、書取。
2年、発音、会話、書取、作文。

露 語 I

講 師 松 本 忠 司

テキスト

- 1, 東郷正延著 《簡約ロシア文法》白水社
- 2, 日露会話帖
- 3, 初等読本(新聞記事, ツルゲーネフ, トルストイ, チェホフなどの短篇小说。プリント刷り)
- 4, 発音練習用テキスト(レコード併用)

露 語 II

講 師 松 本 忠 司

テキスト

- 1, チェーホフ 《カシタンカ》
- 2, ヴアルガ 《20世紀の資本主義》
- 3, モスクワ芸術座レパトリー(レコード併用)

中国語 I・II

助教授 川 上 久 寿

西 語 I・II

助教授 一 色 忠 良

(後 期)

3. 体 育

体育実技

講師 杉 山 登

- 1 実技種目
実技種目については、軟式野球、軟式庭球、排球、羽球、ソフト・ボール、柔道、卓球の7種目であるが、4月より7月迄、9月より12月迄の2期間に、この種目のうちより1種目を各々自由選択とする。
なお、これらの種目については一部変更することもある。
- 2 水泳、スキー
この2種目については必須科目とし、全員参加とする。水泳についての実施期間は追つて通知する。
- 3 測定
背筋力、脚力、肺活量、握力、垂直とび、連続片足とび、体前屈、サイド・ステップの測定を5月と11月に実施の予定。

体育講義（理論）

講師 杉 山 登

体育に関する一般的な解説を行い、特に運動生理を中心として述べたい。
テキストは使用しない。

- 1 体育の史的概観
- 2 現代社会と体育
- 3 運動適性について
- 4 運動生理
 - (a) 運動時の内臓器管の変化
 - (b) スポーツ体型
 - (c) 身体諸臓器の運動効果
 - (d) 疲労について
 - (e) 運動傷害について

体育講義（保健）

非常勤講師
(小樽協会病院内科医長) 大 島 昭 夫

4. 専 門 科 目

民法Ⅱ

講師 中 川 良 延

契約法について、とくに判例に重点をおいてやつてゆきたい。一応教科書として下記のことを指定しておくが、それはこの教科書が民法をやる場合のもつとも基本的なものとされているからであつて、私の講義は、ときに大はばにその内容と変つたものになる予定である。

教科書：我妻栄・有泉享著「民法Ⅱ」一粒社

参考書：中川善之助編「民法演習判例集・債権各論」勁草書房

商 法 Ⅰ

教授 喜 多 了 裕

第1編 営業法

第1章 営業法総説

第2章 営業組織法（店舗法）

第1節 営業の主体

第2節 営業の公示

第3節 営業の人的組織

第4節 営業の物的組織

第5節 営業譲渡

第3章 営業行為法

第1節 商行為の概念

第2節 民法規定の商化

第3節 商事契約

第4節 営業契約

第5節 営業約款

第2編 証券法

第1章 証券法総説（証券の概念・種類・規制）

第2章 手形・小切手法

第1節 手形・小切手の機能・概念・原型

第2節 手形通則

第3節 為替手形

第4節 約束手形

第5節 小切手

第3章 会社証券法（株券・社債券）

第4章 商行為証券法

参考書 石井照久「商法総則」「手形法・小切手法」（法律学講座）弘文堂

商 法 Ⅱ

教授 喜 多 了 裕

第1章 会社法総説（会社の機能・種類・性格・実数）

第2章 株式会社

第1節 総説（概念・規制原理）

第2節 人 格

第3節 社 員

第4節 財 産

第5節 機 関

第3章 合名会社

第1節 総 説

第2節 人 格

第3節 社 員

第4節 財 産

第5節 機 関

第4章 合資会社

第5章 有限会社

参考書 鈴木竹雄「会社法」（法律学講座）弘文堂

国 際 法

助教授 桑 原 輝 路

I 序 論

II 国際法の淵源

III 国際社会

IV 国際紛争の解決と平和維持

V 特殊問題

「序論」においては、国際法の定義、国際法の内容、国際法と国内法との関係について、

「国際の淵源」においては国際法の形式的淵源として条約、慣習法、法の一般原則その他について、

「国際社会」においては、国際社会を構成する法主体の問題、国際社会において行使される権限の問題、国際社会の諸構成員の共同使用に開放されている空間の制度（国際河川、国際運河、海域、空域、宇宙空間、極地域の問題）について、

「国際紛争の解決と平和の維持」においては、武力行使の規制、紛争の平和解決、戦争の抑圧について

「特殊問題」として、国際経済法に関する若干の問題（関税同盟、共同市場、最恵国条項等）についてとりあつかう。

テキストは使用しない。

主な参考書 有斐閣法律学全集「国際法」I, II, III, および「国際組織法」

田畑・高林, 「国際条約・資料集」（有信堂）

統 計 学

助教授 竹 内 清

記述統計、推測統計、経済統計に関する基本を講義するが、本年は例年より若干程度を高める予定である。したがって必要な数学等は前以つて予習しておくよう要求することもある。適宜OR的な問題も講義におりませ

ていく。

使用テキストとしては、

森田優三, 統計概論（増補版）日本評論新社, 1958を予定するが、これより若干程度を高める予定。

経 済 統 計

助教授 竹 内 清

経済予測および需要予測の問題を；企業の観点を中心として講義をする。

Elmer C. Bratt, Business Forecasting, 1958
V Lewis Bassie, Economic Forecasting, 1958
Edward J. Chambers, Economic Fluctuations and Forecasting,
1961 等を参考文献として使用する。

経済変動論

助教授 地主重美

授業内容については、第一講目に説明会をいたします。

民法 I

講師 相原東孝
(小樽商大短大助教授)

経済地理

非常勤講師 大爺栄一
(北海道大学経済学部助教授)

計量経済学

教授 古瀬大六

(一学期)

線型計画問題の数学的理論とその経営への利用

(二学期)

その経済学への適用

A レオンチエフ体系

B 一般均衡理論

(三学期)

非線型計画問題

参考書

- 1, ドーフマン, サミュエルソン, ソロー著「線型計画と経済分析」
I, II, (岩波書店刊)。
- 2, 二階堂副包「経済のための線型数学」(培風館, 新数学シリーズ)。

経済史概論

助教授 浜林正夫

- I, 封建社会の構造 (イ) 農奴制 (ロ) 領主制
- II, 封建制の解体 (イ) 地代の金納化 (ロ) 農民層分解
- III, 絶対王政 (イ) 寄生地主制 (ロ) 問屋制とマニユファクチュア
- IV, 市民革命 (イ) 革命の階級構成 (ロ) 革命の土地問題
- V, 産業革命 (イ) 農業革命 (ロ) 資本の本源的蓄積
- VI, 資本主義の高度化 (イ) 労働問題 (ロ) 独占資本主義の成立

社会政策

助教授 吉武清彦

- I 労働問題
- II 労働をめぐる諸科学
- III 社会政策の本質
- IV 人口及び労働力人口
- V 労働市場論
- VI 労働組合論
- VII 労資関係論
- VIII 賃金論
- IX 労働者保護
- X 生活水準
- XI 社会保障
- XII 国際的社会政策
- XIII 労働運動

- 参考文献 大河内一男『社会政策』（昭32年・青林書院）
 平田隆夫『社会政策概論』（昭30年・三和書房）
 大河内一男『社会政策』（総論，各論計2冊，有斐閣）
 Florence, Industry in the State (Hutchinsons Library)

経済政策

助教授 麻田 四郎

前期，後期にわけて，それぞれ次のテーマをとりあげる。

（前期）「厚生経済学の諸問題」

厚生経済学の展開過程を展望しながら，政策目的の設定にまつ
 わる問題を考察する。

参考書 千種義人著 計画経済原理（春秋社）

熊谷高夫著 厚生経済学の基礎理論〈増訂版〉

（東洋経済新報）

（後期）「経済発展（開発）の諸問題」

下記テキストによつて，経済発展（開発）を政策目的とした場
 合の諸問題理論的，实际的に考察する。

テキスト ハーシユマン著 麻田訳 経済発展の戦略

（巖松堂出版）

財政学

講師 早見 弘

財政収支が民間経済部門にあたえる効果—資源配分・所得分配・経済安
 定ならびに成長—を分析の対象とする。価格理論と所得理論の標準的な知
 識を必要とする。

1, 予算政策の目標と手段 2, 部門予算の同時的決定 3, 財政収
 支の調整と租税原則 4, 租税配分の投票による決定方式 5, 予算政
 策の厚生効果 6, 租税と労働供給 7, 租税と消費および貯蓄 8,
 租税と投資および危険負担 9, 租税帰着の一般均衡分析 10, 選択的
 財政政策の理論 11, 財政収支の構造的安定要因

テキスト R. A. Musgrave, *The Theory of Public Finance*

(Asian students Edition, 1962) 木下和夫ほか訳『マスグレイヴ：
 財政理論』（有斐閣I・II）（III未刊）。

国際経済論

助教授 麻田 四郎

まず古典派貿易理論および近代貿易理論の大要を講述し，ついで最近の
 国際経済の理解に要求される新しい理論方向を探索したい。

- 1 比較生産費の理論
- 2 国際価値論
- 3 交易条件
- 4 外国為替，為替相場，為替市場の安定性
- 5 貿易乗数
- 6 国内均衡と国際均衡
- 7 国際経済協力（理論と協力機構）
- 8 経済発展と貿易（後進国問題，地域統合の問題）

参考書：藤井 茂著 新版国際経済学入門（千倉書房）

小島 清著 外国貿易〈新版〉（春秋社）

ハロッド著 藤井訳 国際経済学〈改訂版〉

（実業之日本社）

商業英語

教授 木曾 栄作

テキスト

北沢佐雄著 現代貿易英語通信

（有朋堂発行）

木曾栄作著 貿易経営要論

（国元書房発行）

商業英語を中心としてその背景となる貿易実務を併行的に講述する。

金融経済論

助教授 阪口 伸六郎

第一章 貨幣

第二章 所得

第三章 生産

第四章 物価

第五章 金融政策

- 第六章 金利
- 第七章 銀行の原理
- 第八章 日・英・米の銀行制度
- 第九章 国際収支
- 第十章 国内金融と国際金融の問題
- 第十一章 マネ・フロー分析と景気循環
- 第十二章 日本経済の金融事情

国際金融論

助教授 阪 口 伸六郎

- 第一章 外国為替の理論
- 第二章 外国為替相場の変動
- 第三章 国際貸借決済
- 第四章 金現送
- 第五章 外国為替取引
- 第六章 外国為替危険の除去と回避
- 第七章 外国為替上の諸制限
- 第八章 為替平衡勘定
- 第九章 貿易の自由化
- 第十章 IMF 及び欧州共同市場の将来

銀行論

助教授 藤 沢 正 也

問 題

現代資本主義における銀行組織の経済的機能を究明すること。特に本年度のテーマは金利問題

講義の内容

I. 金融業務

- a, 銀行資本の類型
- b, 商業銀行の負債及び資産構成の分析, 特にその流動性について
- c, 商業銀行の経営収支の分析, 特にその収益性について

II. 金融市場

- a, 金融機関の専門化と金融市場の役割

- b, 短期金融市場のメカニズム
- c, 長期金融市場のメカニズム
- III. 金融政策の目的と効果
 - a, 金利操作
 - b, 公開市場操作
 - c, ファイiscal ポリシイ
 - d, 信用強制

参考文献 (別紙のなかの特に)

吉野俊彦 金利の解説 (日経文庫)

板倉董一 銀行論 (東洋経済)

渡辺佐平 金融論 (岩波全書)

藤沢正也 現代の金融問題 (文人書房)

キング (藤沢訳) ロンドン割引市場史 (有斐閣)

尚 金利問題について, 別に Memoranda を配布する予定
(Lecture は前期週 2 回の予定)

配 給 論

教授 岡 本 理 一

マーケティング・マネジメントに重点をおいて講述するが, 協同組合, 中小企業問題にも関説する。

1 マーケティングの概念

- (1) マーケティングの意義 (2) マーケティング研究の現状

2 マーケティング・ミックスの適正化

- (1) 製品計画について (2) 売価政策について
- (3) 販売促進について (4) 販売経路について

3 販売経営

- (1) 販売経営の管理 (2) 販売計画 (3) 販売予算

4 市場調査

- (1) 市場調査の意義 (2) 市場調査の方法 (3) 販売割当

5 製品計画

- (1) 製品計画の重要性 (2) 製品計画の方法

6 売価政策

- (1) 売価決定の意義 (2) 売価決定の方法

- 7 広告の管理
 - (1) 広告の意義 (2) 広告効果の測定 (3) 広告費
 - (4) ラジオ, テレビによる広告
- 8 販売経路の管理
 - (1) 配給組織の合理化 (2) 販売組織の系列化
- 9 協同組合
 - (1) 協同組合の意義 (2) 協同組合の配給事業 (3) 商工組合
- 10 中小企業問題
 - (1) 中小企業の特質 (2) 中小企業の経営合理化 (3) 中小企業の組織化

特定のテキストを使用せず, 講義に際し, 毎時, 要綱を印刷したものを配付する。

保 險 論

教授 久 木 久 一

- 1 保険の生成発展
- 2 保険の本質
- 3 保険類似の施設
- 4 保険の技術的基礎
- 5 保険の可能の限界
- 6 保険の組織
- 7 保険の形態——保険の種類
- 8 保 險 料
- 9 保険資産とその運用
- 10 保険事業収益の源泉
- 11 保険事業の監督

交 通 論

教授 久 木 久 一

本年度は海運論を講述する。

- 1 海運の意義
- 2 海運市場
- 3 船 舶

- 4 海運業者
- 5 船 員
- 6 海運の経営
- 7 海運同盟
- 8 運送契約
- 9 海上運送人の責任と負責特約
- 10 用船契約
- 11 船荷証券

証 券 市 場 論

講 師 進 藤 寛

金融市場の一部としての証券市場の実態と役割を明らかにすることを目的とする。

講義の内容

- 1, 研究対象としての証券市場論——とくに金融論との関係——
 - 2, 擬制資本
 - (イ) 貸付資本と擬制資本
 - (ロ) 擬制資本と証券取引資本
 - (ハ) 金融資本
 - 3, 証券市場の構造 ——金融市場の一部としての——
 - (イ) 資本主義の発展と証券市場
 - (ロ) 各国証券市場の類型
 - 4, 証券市場と金融政策
 - (イ) 公開市場操作とマージン・リクワイアメント
 - (ロ) 金融市場構造の日本の特殊性
- [備考] 本年度は教科書を使用しない。

経 営 経 済 学

教授 室 谷 賢 治 郎

- I 序説 (研究の 対象と方法)
- II 企業と経営者
- III 企業形態
- IV 経営管理

V 経業労務

VI 経営財務

VII 利益管理

テキストに古川栄一著「新版経営学通論」(昭和36年3月新版, 同文館出版株式会社発行)を使用する。

工場経営

助教授 伊藤 森右衛門

- I 序—工場経営と管理的思考— (10)
- (1) 経営的生産の発展と管理的思考
 - (2) 経営管理の展開と「科学的方法」
 - (3) 工場経営の職能と組織構造
- II 工場管理の計画化と統制化 (10)
- (1) 課業管理と時間研究
 - (2) 生産方式と標準化
 - (3) オートメーションと生産管理
- III 工場管理の組織化と人間化 (10)
- (1) 賃銀制度とモチベーション
 - (2) フォーマル組織とインフォーマル組織
 - (3) オートメーションと労務管理

産業心理学

講師 馬場 道夫

従来の産業心理学は概して労働関係の心理学であるが、私はこれに販売広告心理学をも加える予定である。従つて経営心理学とすべきであるかもしれない。内容は単に技術的な応用の知識だけでなく、労働という行為が心理学的にみてどうゆう行為であるのか、消費行動は心理学的にいついかなる性質のものであるかについての理解を促進させるものにした。主な内容は次の通り、

第1部 労働の性質と条件

職務分析, 能率と疲労, 事故, 人間工学, 訓練

第2部 適性と雇用

各種の適性検査, 他の心理学テスト, 実験法, 職務評価

第3部 人間関係

労働の動機, 意気, 企業内の社会心理学的問題

第4部 販売関係

広告心理学, 購買動機調査, 経済と心理学

参考書として豊原恒男 産業心理学がある。

簿記学

講師 久野 光朗

最初の授業時間に授業計画および学習方法について説明をする予定です。一応講義の進め方を示すと次のようになります。

§1 総論

§2 貸借理論

§3 勘定理論

§4 帳簿組織論

§5 決算理論

テキストは下記のものを使用する。

石河英夫, 「商業簿記要論」(お茶の水書房, 1953)

商業数学(代数I)

教授 武隈 良一

商業数学といえば普通に、利息算、年金算、減価計算などを意味するが、ここでは広く解釈して、商業、経済、経営に必要な数学、それも主として代数学を講義する。一般教育科目の数学においては微積分を一通り修得するので、それ以外の数学として代数学初歩を紹介するのが目的である。数学専門家のための代数学ではなく、応用数学としての代数学である。従つて内容は行列式、行列、線型代数、代数方程式、定差方程式などである。

使用テキスト

I, 古屋茂著 行列と行列式 培風館

II, (未定)

工業経済学

助教授 吉武 清彦

今年は『国家と産業』の観点から、国家と工業の関係を主としてイギリ

スを中心として述べて見たいと思う。更に後半に於ては特にイギリス国有化産業を産業論的に扱つて見たいと考える。

- I 国家と産業の關係の歴史的考察
- II 工業技術論
- III 独占と独占対策
- IV 財政投融资と工業金融
- V 工業立地論
- VI 中小工業論
- VII 産業国有化
- VIII イギリス国有化産業
 - a) 管理組織
 - b) 労資關係・賃金
 - c) 投資及び財政
 - d) 価格政策と生産性の測定
 - e) 公共責任性
 - f) 国有化をめぐる新しい動向

参考文献

- Florence, "Industry and The State" (Hutchinson's Library)
PEP "Government and Industry"
Robson, Nationalized Industries and Public Ownership

経済学特殊問題

助教授 藤 沢 正 也

問 題

マルクス主義経済学による現代資本主義分析入門

講義の内容

下記の問題に関する諸法則の現実的な吟味

- I, 価値と価格
- II, 資本蓄積
- III, 経済恐慌と独占

参考文献

- K. Marx, Das Kapital, (向坂訳, 長谷部訳何れでも可)
M. Dobb, Capitalism Yesterday & Today

III 日本における近代教育制度の発達と近代教育理論の展開

会 計 学

教授 石 河 英 夫

- 第一章 会計学の概念
- 第二章 企業会計の本質
- 第三章 企業会計の機能
- 第四章 会計学説の展開
- 第五章 企業会計の基礎的前提
- 第六章 企業会計原則
- 第七章 資産会計
- 第八章 資本会計
- 第九章 剰余金会計
- 第十章 損益計算
- 第十一章 棚卸資産の評価
- 第十二章 減価償却

企 業 分 析

非常勤講師 古 川
(一橋大学教授)

有価証券論

非常勤講師 上 林
(神戸大学教授)

経済学史 (E)

開講については前以つて通知する。

社会科学概論

開講については前以つて通知する。

政 治 学

開講については前以つて通知する。

(Lecture は後期週 2 回の予定)

職業指導

非常勤講師 阿部利雄

- I 職業に関する諸側面の検討
 - 1 職業の社会的側面
 - 2 職業の心理学的側面
 - 3 職業の経済学的側面
 - 4 労働科学的側面
- II 職業研究の諸課題
 - 1 職業構造論
 - 2 職業動態論
 - 3 職業配分論
 - 4 職業類型論
 - 5 職業意識論
 - 6 職業生活様式論
 - 7 職業人的資質論
- III 職業選択及決定に関する諸研究
 - 発生的職業選択の研究
 - 職業選択の類型化と段階説
- IV 職業発達理論
 - 発達の要素的研究
 - 職業成熟示標
- V 職業経歴類型と生活段階説
- VI 自我概念の発達
- VII 職業指導効果測定と成功示標
 - 効果測定と予測に関する諸研究
- VIII 職業指導の技術概要

5. 教職に関する専門科目

教育原理

講師 田中昭徳

- I 教育学の発達
- II 教育現象
- III 教育目的および教育理想
- IV 教育内容
- V 教育過程および教育方法
- VI 教育制度および教育政策
- VII 教師

英語科教育法・実習

助教授 脇田 勇

英語教育法の歴史的変遷を概観し、現代の新しい言語理論にもとづいた新教授法の理論と実践に関する研究事項を詳述し、又一方現実の問題として、中、高の英語科の教科課程及び教授方法の諸問題に関し、実習前迄に必要な知識を講義する予定である。当分テキストは使わず講義とし、必要に応じて参考書を指示する。

商業科教育法

講師 金巻賢字
(小樽商大短大教授)

教職課程の必修科目(3単位)である。3年目の学生が修得するのが望ましい。講義は4月から11月までに行われる。要綱は下記のとおりで、ノートを使用する。ほかに一、二の参考資料を用いる。参考書などについては講義の際に指示する。

- 第1章 我国における商業教育の発展
- 第2章 商業教育の現状と問題点
- 第3章 商業科目特に「商業一般」と「商業簿記」
- 第4章 教師論

以上

教育実習

講師 金 卷 賢 字
(小樽商大短大教授)

教職課程の必修科目(2単位)である。3年目の学生が修得するのが望ましい。隣接の緑陵高校を実習校として、概ね9月下旬—10月下旬の間に行われる「商業一般」と「商業簿記」のいずれかを、学生の志望によって実習校の教官の指導下に授業参観と教壇実習が課される。なるべく多く「商業簿記」を選ぶようにされたい。実習に先だつて本学側の予備的な注意事項の達示がある。

以上

教育史

講師 田 中 昭 徳

I 近代教育制度の成立と発展

- (1) 中世後期における都市の発達と大学および都市学校の興隆
- (2) 宗教改革による学校制度の荒廃と再建(学校制度の公営化)
- (3) 絶対主義国家の教育政策(国家教育制度の建設)
- (4) 市民革命と民主的国民教育制度の構想
- (5) 産業革命と民衆教育(近代的義務教育制度の樹立)
- (6) 統一学校運動と中等教育の拡大

II 近代教育学の発達

- (1) 近代教育理論の開礎
 - a, コメニウス
 - b, ロック
 - c, ルソー
 - d, ペスタロッチ
- (2) 科学的教育学の建設と発展
 - a, 体系的教育学の樹立(ヘルバルトおよびヘルバルト学派)
 - b, 批判的教育学(ナトルプ)
 - c, 経験的教育学
 - d, 文化教育学
 - e, プラグマティズム教育学
 - f, 教育科学
 - g, 社会科学的教育学
 - h, 比較教育学